



※ この冷凍冷蔵庫は室内・家庭用です。
業務用として使用しないでください。

取扱説明書

[室内・家庭用] 冷凍冷蔵庫

型番 **IRSN-IC30A**

製品の最新情報は当社WEBサイトで
ご覧いただけます。
[https://www.irisohyama.co.jp/
refrigerator-camera/](https://www.irisohyama.co.jp/refrigerator-camera/)



保証書付

日本国内専用 (FOR USE IN JAPAN ONLY)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見るできるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	3
使用上の注意	6
付属品	6
各部のなまえ	7

取り扱いかた

準備する	8
アプリの使いかた	14
操作パネルの使いかた	16
冷蔵室	17
冷凍室	19
自動製氷の使いかた	20
部品の取り外しかた・取り付けかた	22

お手入れ

お手入れ	24
------------	----

こんなときは

こまったときは・・・	26
移動・運搬するときは	29

アフターサービスとその他の内容

保証とアフターサービス	30
仕様・商標	31
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り除くほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 移動時に電源コードを引っ張らない火災の原因になります。
- 電源コードを傷付けない
- 設置時に冷蔵庫を電源プラグに押し付けない傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わないショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、使用を中止しアイリスコールへお問い合わせください。(コードの交換は製造業者もしくはその代理店または同等の有資格者によって行います。)



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く感電やけがの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

設置について



- 水平で安定した場所で使用する不安定な場所で使用すると、ドアの開閉などで転倒し、けがや火災の原因になります。
- 地震に備えて、転倒防止処置をする転倒すると、けがや火災の原因になります。
- 風通しが良いところに、すき間を空けて設置する機器の囲いやビルトイン構造は設置せず、障害物をなくし通風口を確保すること。せまい場所に設置すると、過熱の原因になるだけでなく、冷媒がもれ出したときは、滞留して発火・爆発の原因になります。



アースを接続

- アースを取り付ける(アースを取り付けることをおすすめします。アースを取り付けないと、故障したり漏電したときに感電するおそれがあります。)

次のような場所で使用する場合は、法令でアース工事(D種接地工事)が義務付けられています。

- 湿気の多い場所
土間・コンクリート床・貯蔵室など
- 水気のある場所
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ
※アース線は別売りです。付属していません。

安全上の注意 つづき



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



- 水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する
水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。(ご家庭の分電盤に設置されていることがあります)
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

異常時には



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 触れるとピリピリ電気を感じる→使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 冷蔵庫の冷媒がもれたら
- プロパンガス・都市ガスなどのガスがもれたら
冷蔵庫やコンセントに触れずに、窓を開けて換気してください。引火して、発火・爆発の原因になります。

廃棄時は



- 廃棄などで保管するときは、必ずドアパッキンを外す
幼児の閉じ込め事故の原因になります。
- 廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す
放置すると、冷媒もれによる発火・爆発の原因になります。

取り扱いについて



- 冷却回路（配管）に損傷を与えないこと
この商品は霜取り不要です。
冷媒がもれると発火・爆発の原因になります。
- 可燃性のスプレーや爆発のおそれがあるエアゾール缶を入れないこと
または近くで使用しないこと
引火・爆発の原因になります。



- 屋外・小屋・車庫・軒下で使用しない
故障して、ショートや火災の原因になります。
小動物により電気配線を傷付けられたり、雨水の影響により、故障や火災の原因になります。
- 上に乗ったり、重いものを載せたり、ドアにぶら下がったりしない
転倒してけがの原因になります。
- 脱臭機などの電気製品を入れない
感電や引火、爆発の原因になります。
- 可燃性高圧ガスが入ったエアゾール缶のような爆発性物質を保存しない
接着剤・ベンジン・工業用アルコール・ライター・ボンベなど、揮発性・引火性のあるものは入れないでください。引火・爆発のおそれがあります。



水ぬれ禁止

- 風呂場など極端に湿度が高く、水がかかる可能性の高い場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、水をかけたりしない
- 冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない
火災・感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 自動製氷機の機械部に手を入れない
けがの原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

お手入れのときは



- 棚の取り付けは確実にする
落下すると、けがや保存物の破損の原因になります。



接触禁止

- 底面に手や足を入れない
鉄板の端面でけがをするおそれがあります。
- 背面の機械部分に触れない
やけど・けがの原因になります。

移動・運搬・設置するときは



- すべり止め手袋をして運搬用取っ手を持ち、2～4名以上で運ぶ
手を滑らして落下させないようにご注意ください。
- 傷付きやすい床や、柔らかい床（クッションフロアなど）の上では、保護用の板を敷く
床が傷付いたり凹んだりするおそれがあります。
- 中の食品や氷はすべて取り出し、給水タンクの水を捨てる
落下して、破損・飛散・けがの原因になります。



- 横倒しに置かない
コンプレッサーや冷却回路が破損し、冷媒がもれると火災の原因になります。

取り扱いについて



ぬれ手禁止

- 冷凍室内の食品・容器（特に金属製の容器）にぬれた手で触れない
ぬれた手で触れるとくっついて、凍傷の原因になります。くっついてしまったときは、水をかけてはがす、または流水で洗い流してください。
凍傷になったと思われるときは、医師の診断を受けてください。



- 冷凍室にびん類を入れない
中身が凍結により膨張してびんが割れ、けがの原因になります。
- 冷凍室に炭酸飲料を入れない
破裂するおそれがあります。
- 異臭がしたり、変質した食品は食べない
腐敗のおそれがあり、健康を害する原因になります。
- 食品を棚の前端より前に出さない
- ドアポケットに収まらないものを無理に入れない
引っかかって落下し、破損やけがの原因になります。
- 熱いものは入れない
熱いものは、必ず冷めてから入れてください。
ガラスの棚は、急冷・急熱すると割れることがあります。
- 医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務用・特殊用途に使用しない
保存品の劣化の原因になります。家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。
- 勢いよくドアを開閉しない
転倒したり、指をはさんだりして、けがの原因になります。また、保存物が破損したり、落下したり、飛散したりするおそれがあります。
- 他の人がさわっているときは、ドアの開閉をしない
- ドア回転の支点部分に触れない
指などをはさんでけがをするおそれがあります。
- 製造業者が推薦するもの以外の、除霜を速めるための機械的な器具やその他の手段を用いないこと
- 製造業者が推奨する電気機器以外を食品貯蔵庫内で使用しないこと

使用上の注意

カメラについての注意

取り扱いについて

- 冷蔵庫カメラのレンズに触れたり、物をぶつけないようにご注意ください。
レンズに傷が付くなど、故障の原因になります。

- ドア内側に小さな穴がありますが、不良ではありません。
断熱材の発泡時に空気を抜くのに使用した穴です。(数か所あります。)
- 使い始めは、ドアを開けると構造材のにおいがすることがありますが、使用にともない消えますので、そのまま使用してください。

停電のときは

- 庫内の温度を保つため、ドアの開閉・新たな食品の保存を控えてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜き、2～3日ドアを開放して庫内を乾燥させてください。
かびやにおいを防止するためです。
- 電源プラグを抜いたときは、約6分以上待ってから、差し込んでください。
コンプレッサーに負担がかかり、すぐに動かない場合があります。

冷凍冷蔵庫を廃棄するとき

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様が使用済みの冷蔵庫を廃棄する場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。



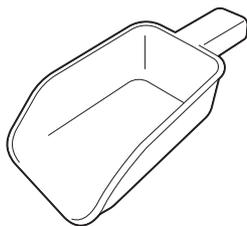
- 廃棄処分するときは、ドアパッキンを外す
- 幼児が遊ぶ場所に放置しない
幼児が閉じ込められる危険があります。

この機器は安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子どもを含む）が単独で機器を用いることを意図しておりません。

子どもがこの機器で遊ぶことがないように、注意してください。

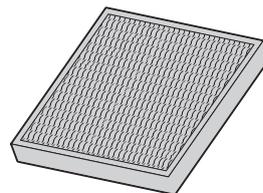
付属品

アイスシャベル



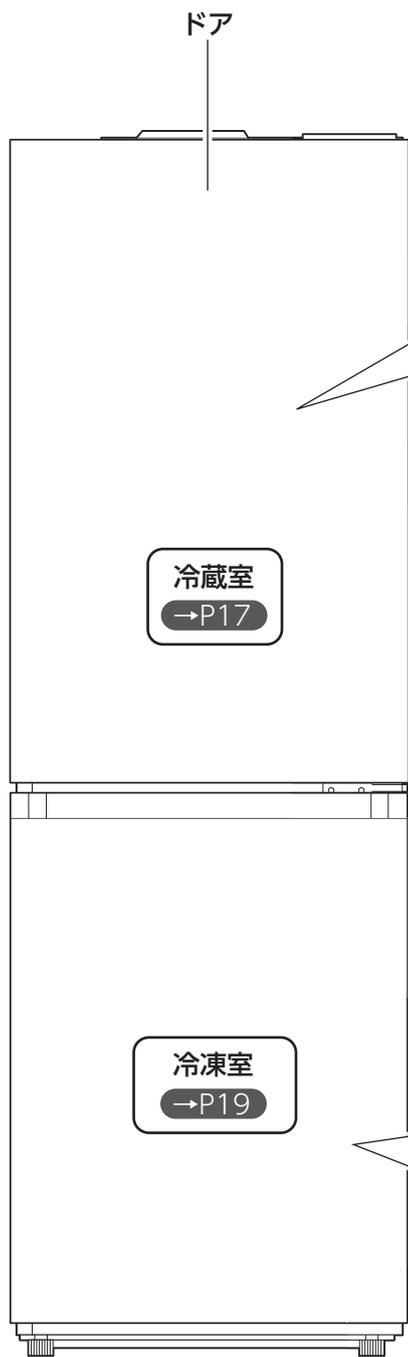
浄水フィルター (予備1個)

※ 初期使用分は、あらかじめ給水タンクに装着されています。

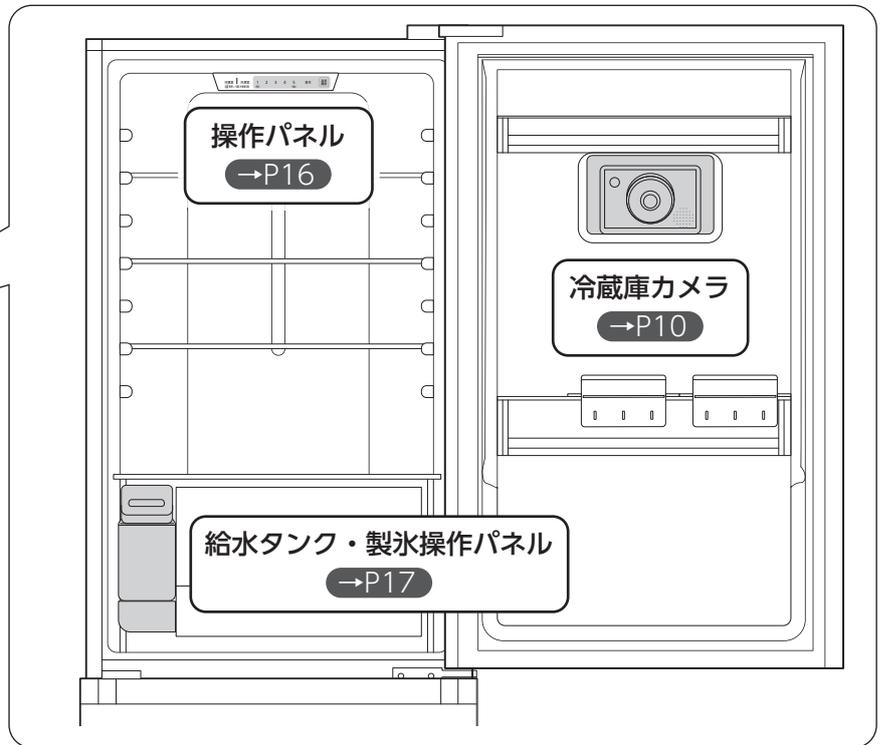


各部のなまえ

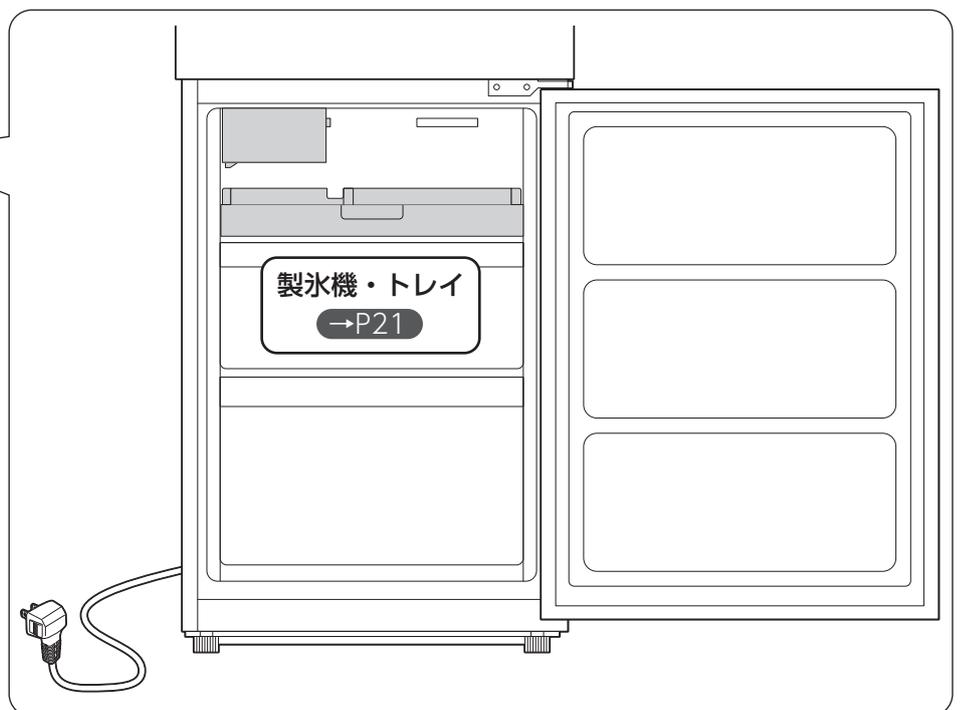
ご使用の前に



冷蔵室内部



冷凍室内部



※ 各室内の詳細な各部名称については、各室の取り扱いかたのページをご覧ください。

準備する

❗ お願い

- 電源プラグが差し込まれていないことを確認してください。

冷凍冷蔵庫本体の設定

1 設置する

- ・ 電源コードを挟み込まないように本体を設置してください。

※ 電源プラグはまだ接続しないでください。

直射日光や暖房機器の熱の当たらないところ

風通しの良いところ

- ・ 冷却能力の低下を防ぐため、風通しをよくして放熱してください。
- ・ 周囲から図の距離を空けてください。

ラジオやテレビから離れたところ

- ・ ラジオやテレビにノイズが入ることがあります。

電源プラグが掃除しやすいところ

- ・ 電源プラグのほこりは定期的にとってください。

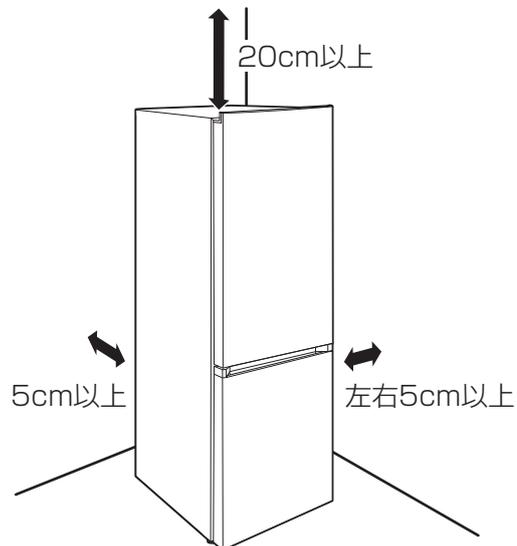
湿気の少ないところ

腐食性ガスの発生しないところ

- ・ 配管が劣化・破損すると、冷媒もれの原因になります。

水平で丈夫な床の上

- ・ 不安定な場所への設置は、振動や騒音の原因になります。
- ・ 熱による変形や変色の防止のため、じゅうたん・たたみ・塩化ビニル樹脂の床には保護用の板を敷いてください。



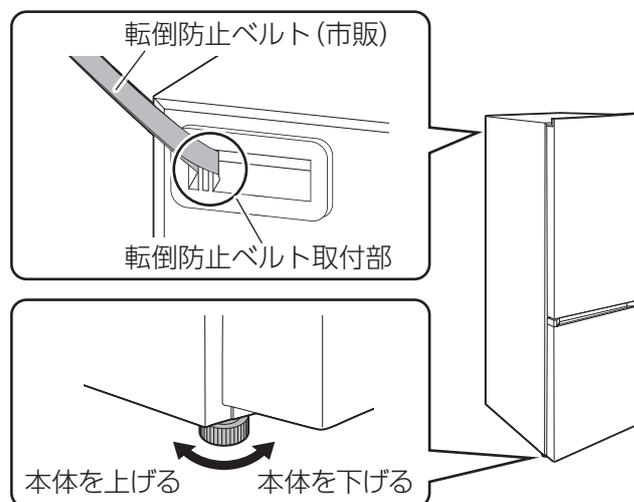
2 固定する

- ・ 調節脚（前側2か所）を回して、がたつかないように固定してください。

地震に備えて

- ・ 地震で倒れないように、転倒防止処置をしてください。

冷蔵庫背面の転倒防止ベルト取付部に、市販の転倒防止ベルトを取り付け、背面の壁などに固定します。



❗ お願い

- 転倒防止ベルトを固定する壁は、十分な強度があることを確認してください。石こうボードなどに取付けると、壁が破損するおそれがあります。

3

庫内の梱包材を外し、庫内を拭く

❗ お願い

- 棚などの部品が取り付けられていることを確認してください。
- 湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

4

アース線を接続する

アース線は別売りです。アース線を取り付けることをおすすめします。(→P3)

- 市販のアース線を用意し、片方を本体背面下部にあるアース用ねじで固定してください。



- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

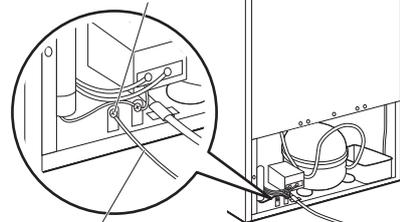
アース端子付きコンセントがある場合

- アース線先端の銅線部分を、アース端子に差し込んで固定します。
- ふた付きの場合はふたを開けて、つないでください。

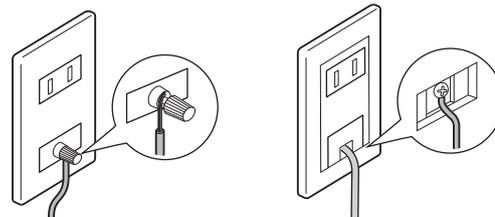
アース端子付きコンセントがない場合

- アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。

アース用ねじ



アース線(市販)
緑/黄
軟銅線 断面積2.0mm²以上
(直径1.6mm)



- ふたつきはふたを開ける

5

電源プラグを差し込む

※ 冷蔵庫はコンプレッサーが動作するときに、定格の数倍の電流が流れることがあります。電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。

❗ お願い

- 電源プラグを抜いたときは、すぐに差し込まないでください。
コンプレッサーに負担がかかり、故障の原因になります。約6分以上待ってから差し込んでください。

庫内の冷却が始まります。

- 庫内を冷やすために約4～10時間(夏場は約24時間)何も入れない状態で運転してください。
- ※ 庫内が冷えるまでは、できるだけドアを開閉しないでください。

準備する つづき

カメラの準備

ご使用になる前に

冷蔵庫カメラをインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備（ルーター、回線端末装置など）を経由して接続してください。

●インターネット環境

常時インターネットに接続可能な環境が必要です。

●無線LAN機器（Wi-Fi機器）

IEEE802.11b/g/n（2.4GHz帯のみ）

セキュリティ対策のため、必ず暗号化方式WPA2™またはWPA™（いずれもTKIPまたはAES）の設定ができる無線LAN機器をご使用ください。

設定方法は無線LAN機器の取扱説明書をご参照ください。

WEPのみ対応の機種はご使用になれません。

モバイルルーターは動作保証していません。

※ この取扱説明書に使用している画面は予告なく変更することがあります。

※ 本サービスや機能はアプリのバージョンアップにより内容が変更されることがあります。

※ アプリはすべてのスマートフォンで動作保証するものではありません。機種によっては動作が不安定になったり、画像の表示が異なる場合があります。

1 アプリをインストールする

① Android の場合：

「Google Play」を起動する

iPhoneの場合：

「App Store」を起動する

② 「HomeLink」で検索する

③ 「HomeLink」をインストールする

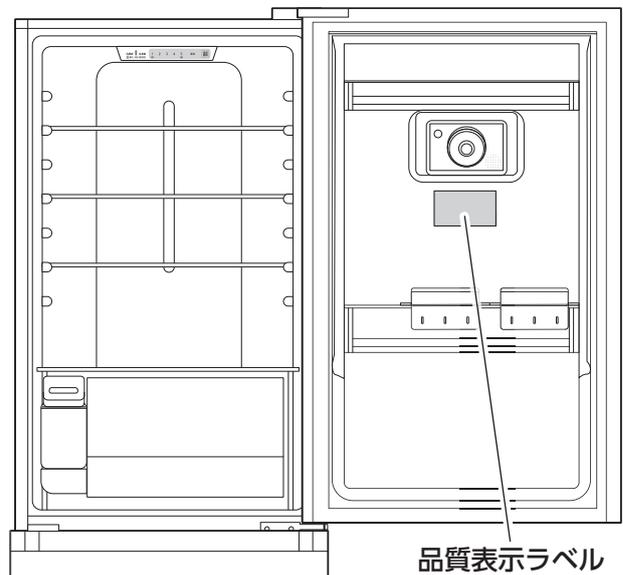
※ 右記QRコードまたは冷蔵庫の扉にある品質表示ラベルのQRコードからもインストールできます。



iOS用



Android用



品質表示ラベル

2

ユーザー登録をする

- ① 「HomeLink」 を起動する
- ② 画面の案内にしたがって、ご登録ください
 - ・ メールアドレス
 - ・ パスワード
 - ・ 企業コード 「iris」が必要です。

[新規登録] をタップする。

メールアドレス、企業コード「iris」を入力し、[次へ] をタップする。

※企業コードを必ず入力してください。
入力できていないと、デバイス追加時に冷蔵庫カメラを選択できません。

受け取った認証コード（数字4桁）を入力し、パスワードを設定する。
[次へ] をタップする。

3

冷蔵庫カメラの登録をする

- ① [デバイスの新規追加] をタップする



準備する つづき

3

② 「カメラ」 → 「冷蔵庫カメラ」 をタップする

※ 「すべて」 → 「家電の追加」 には表示されないため、ご注意ください。

※ 「冷蔵庫カメラ」 が見つからない場合「HomeLink」のユーザー登録(→P11)の際、企業コードが入力されていない可能性があります。

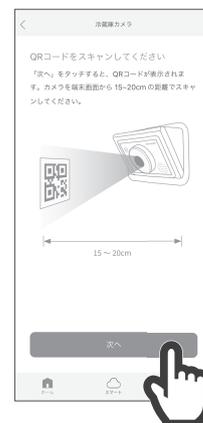
アプリ内の「設定」→「アカウント」→「アカウントを削除」で削除した後、再度ご登録ください。

画面にしたがって確認し、[次へ] をタップする。

※ 青色のランプが点滅していない場合はカメラ横のリセットボタンを長押ししてください。

P10の基準を満たすWi-Fiが選択されていることを確認してください。Wi-Fiのパスワードを入力し、[次へ] をタップする。

表示内容を確認し、[次へ]をタップする



スマートフォンに表示されたQRコードを冷蔵庫カメラに向けて読み取らせる。

「ビー」という電子音が聞こえたら【電子音が聞こえました】をタップする。

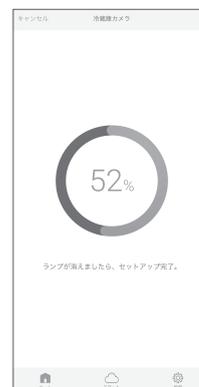
※ 電子音が聞こえないときは

- スマートフォンの画面の明るさを最大にしてください。
- 冷蔵庫カメラのランプが点滅しているかご確認ください。
角度と距離を調整して、もう一度試してください。

画面にしたがって名称、部屋を設定し、【次へ】をタップする。

※ 登録が完了すると右画面が表示されます。

実際の庫内画像は最初の撮影後（約8分後）に表示されます。



カメラのランプ表示について

冷蔵庫扉をしばらく開けていない状態（カメラ非通電）で、冷蔵庫扉を開けたとき、白色ランプが点灯します。

白色：【点灯】通電時、庫内撮影前後

青色：【点灯】通電時【点滅】冷蔵庫カメラ未登録時

アプリの使いかた

アプリの操作方法は、弊社WEBサイトでもご確認いただけます。

「HomeLink」アプリ「冷蔵庫カメラ」のトップ画面

アプリの操作方法はこちらから
<https://www.irisohyama.co.jp/refrigerator-camera/>



①冷蔵室庫内画像

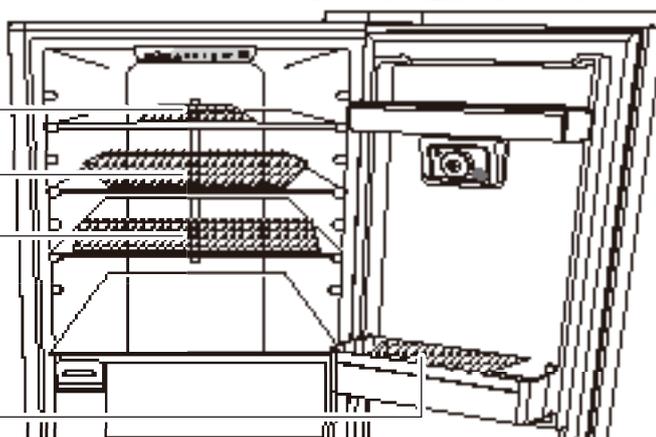
最新の冷蔵室庫内画像が表示されます。

撮影画像



撮影範囲（斜線部）

※ イメージです。
 ガラス棚の位置によって、撮影範囲が異なります。



おすすめの使いかた

上段	ペットボトルや缶飲料など
中段	卵、納豆、ヨーグルト、ストック品、常備菜など
中段	背の低いもの、容器などに入れた常備菜など
下段	鍋など重いものや大きいもの ※写りにくいエリアです。
ドアポケット(下)	お茶・ジュース類など

冷蔵室の扉を開けてから約8分後に撮影し、画像が更新されます。

※ 庫内の湿度によって、画像が見えにくくなる場合があります。

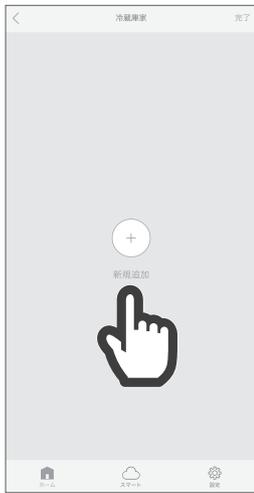
※ お使いの端末の画面サイズによって、写り方が多少異なります。

※ カメラ取付位置の都合上、冷蔵室すべてが見えるわけではありません。

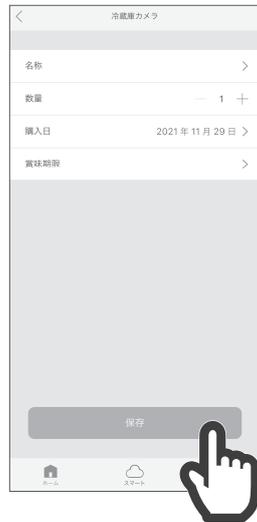
※ 撮影時に扉が開いているなど、冷蔵室の状態によりうまく撮影できない場合があります。

② 食材管理

食材や賞味期限を入力しておくことで、庫内食材の把握や賞味期限を事前に通知させることができます。



[新規追加] をタップする。



名称、数量、賞味期限などを画面にしたがって登録し、[保存] をタップする。



登録した食材の確認ができます。

①在庫を削除したいときは、右上の☑マークをタップする

②削除したい在庫の右上の●をタップする

③ 履歴

庫内画像を撮影した直近7日間の画像を確認することができます。



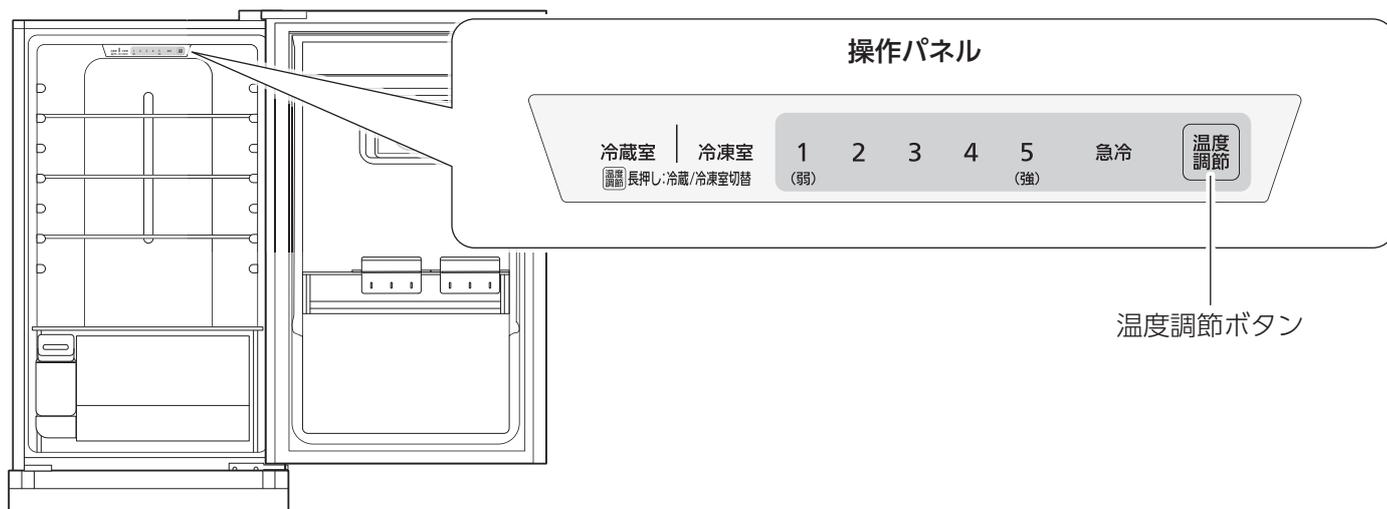
確認したい履歴の日付をタップする。



選択した日付の最終庫内画像が表示されます。

操作パネルの使いかた

冷蔵室内上部の操作パネルで、冷蔵庫全体の庫内の設定温度の調節や急冷モード設定ができます。



温度調節方法

- **温度調節** ボタンを長押し (約3秒以上) すると温度調節の対象の室が切り替わります。その後、**温度調節** ボタンを押すたびに温度設定が切り替わります。

※ 通常の温度設定は「**3**」にしてください。

冷凍室の急冷

- 食品を急いで冷やしたいときにご使用ください。
- 急冷表示が点灯した場合に、急冷を行います。
- 約3時間、急冷を行います。急冷終了後は通常運転に切り替わります。
- 急冷を中止したいときは、**温度調節** ボタンを押し、**1**～**5**の温度設定に設定してください。
- 霜取り中に急冷に設定した場合、表示ランプは点灯しますが、運転はしばらくしてから始まります。

※ 冷蔵室に急冷機能はありません。

温度調節の目安

周囲温度32℃、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの目安

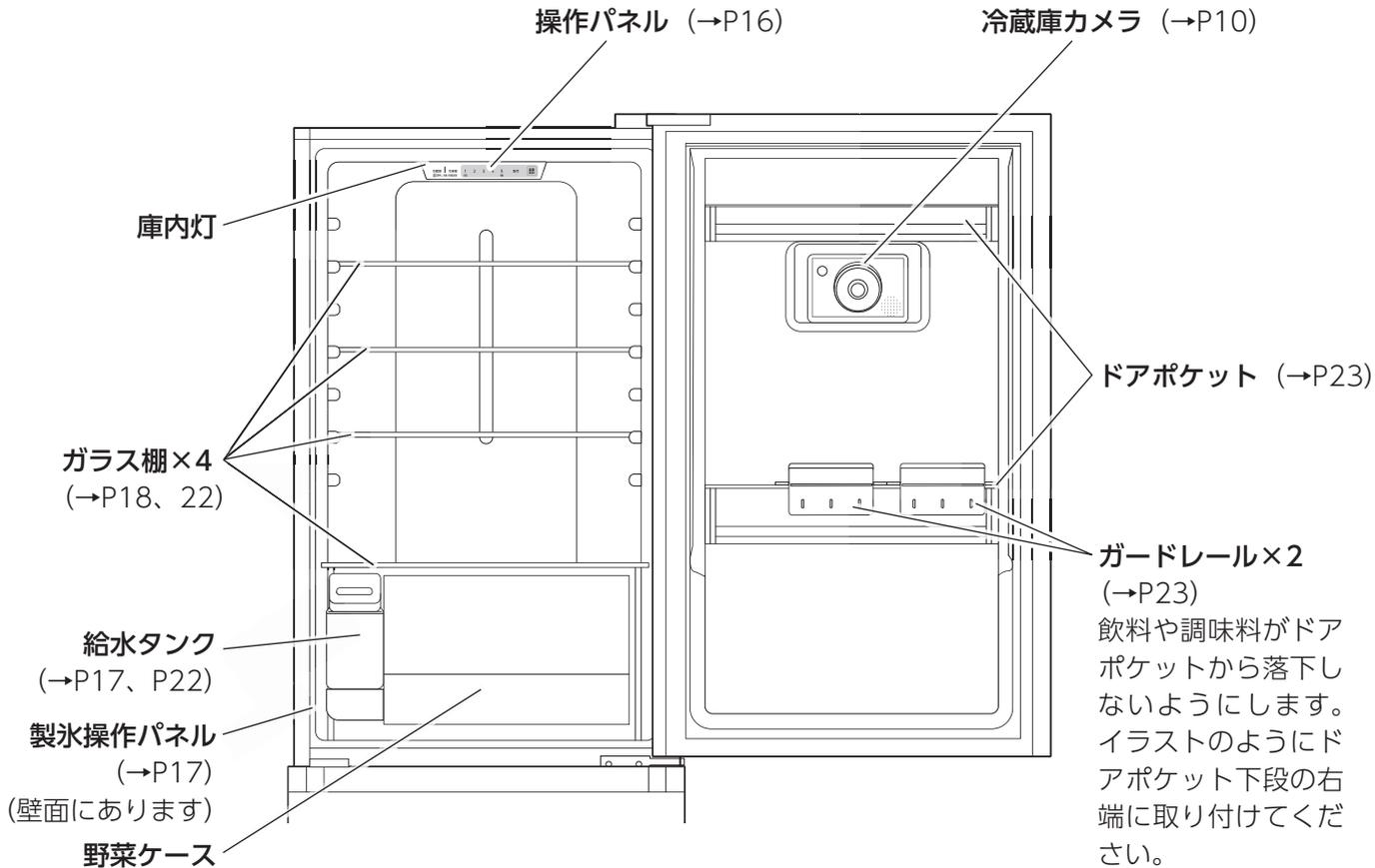
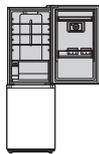
冷蔵室

強 ↑ ↓ 弱	5	[3] より約2℃～3℃低め
	4	
	3	約3℃～6℃
	2	[3] より約2℃～3℃高め
	1	

冷凍室

強 ↑ ↓ 弱	5	[3] より約2℃～3℃低め
	4	
	3	約-20℃～-18℃
	2	[3] より約2℃～3℃高め
	1	

冷蔵室



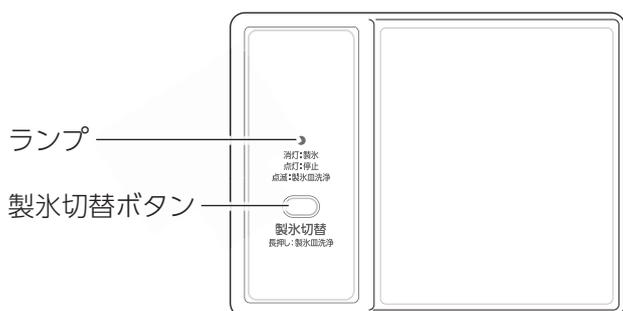
取り扱いかた

給水タンク

給水タンクに水を入れセットすると、自動で氷を作ります。自動製氷についてはP20をご覧ください。



製氷操作パネル



ランプ

ランプ	状態
消灯	製氷運転中
点灯	製氷停止中
点滅	製氷皿洗浄中

製氷切替ボタン

ボタンを押すたびに、自動製氷を運転/停止します。(→P21)
ボタンを約3秒長押しすると、製氷皿を洗浄します。(→P25)

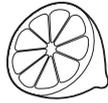
冷蔵庫 つづき

食品の入れかた

食品保存のコツ

- ポリ袋・ラップ・密閉容器で保存する
(におい移りや乾燥の防止)

かんきつ類の精油成分は、庫内プラスチック部分に変質する原因に、塩分が多い食品は、さびなどの原因になります。



- 常温まで冷ましてから
(他食品への悪影響・故障の防止)

- ドアの開閉は手際よく
(庫内の冷え悪化・霜の防止)

- つめ込みすぎない
(庫内の冷え悪化の防止)

- 缶・びん・水気の多い食品は
冷気吹き出し口から離す
(食品凍結の防止)

冷蔵庫での保存に向かないもの



バナナなどのトロピカルフルーツ
(変質のおそれ、食べる直前に冷やす)



さつまいも・さといもなど
(腐敗のおそれ)

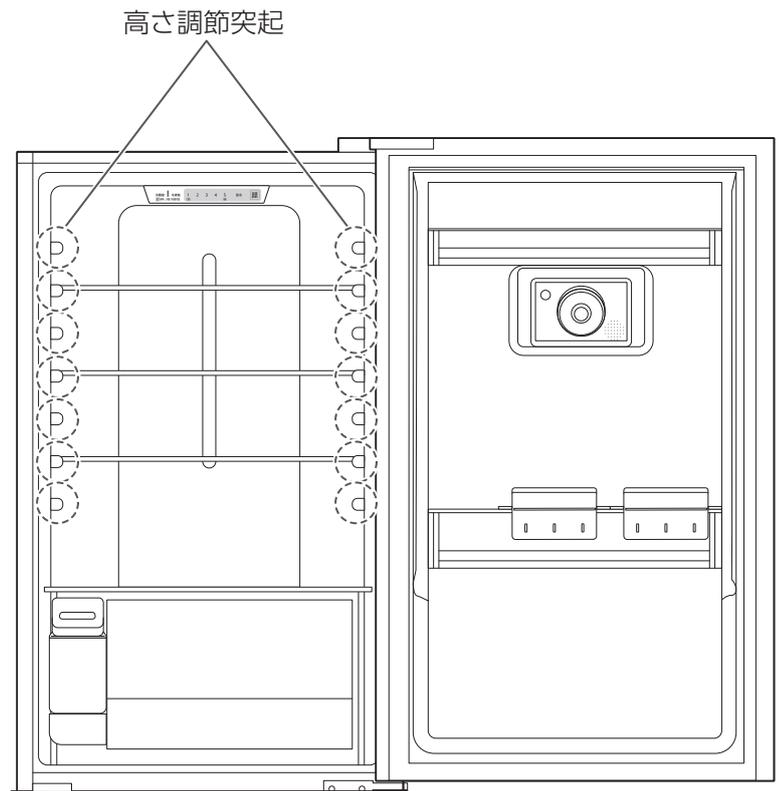
！ お願い

- その他の野菜・くだものなどでも、冷やすと風味が落ちるものがあります。食べる直前（約2～3時間前）に冷蔵庫に入れるなど、適切に使用してください。

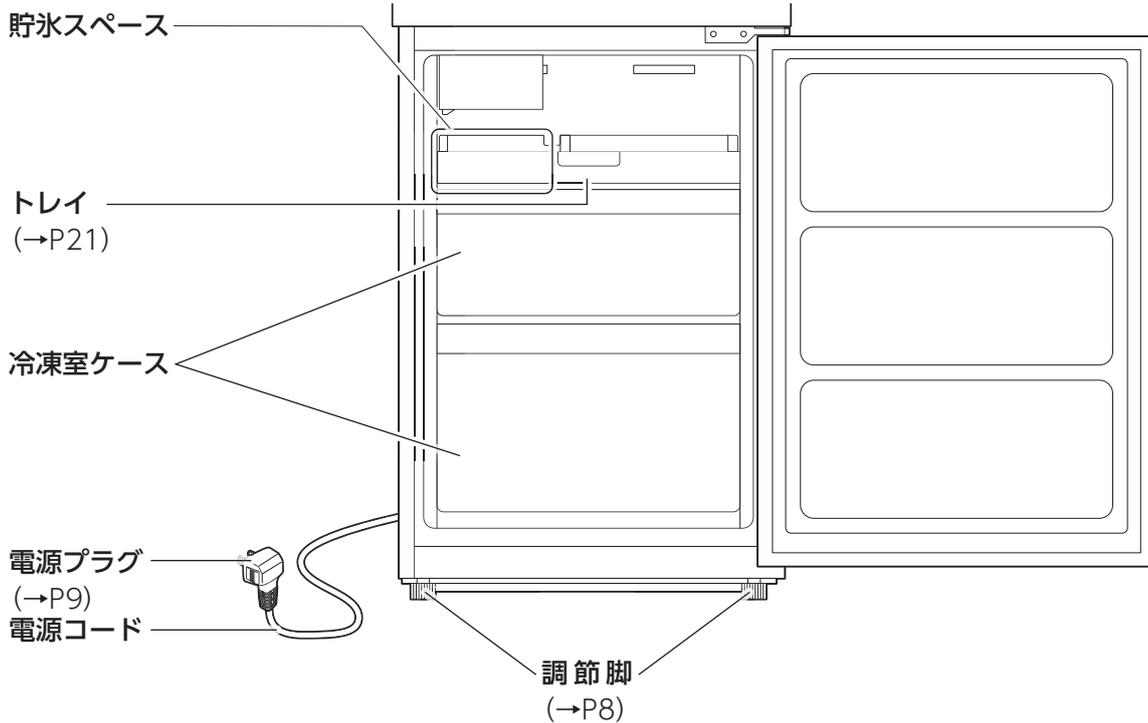
ガラス棚の高さを調節する

入れる食品や飲料の大きさによって、ガラス棚の高さを変更すると無駄なく収納できます。

- ※ 高さ調節突起でガラス棚を置く位置を変更すると高さを自由に変更できます。
- ※ ガラス棚の取り外しかた・取り付けかたについては、22ページを参照してください。
- ※ ガラス棚の位置によって、庫内カメラの見えかたが異なります。



冷凍室



！ お願い

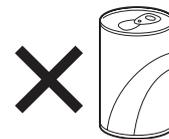
- ドアを開閉するときは、取っ手を持ち、静かに開閉してください。勢いよく開閉すると、食品が背面に落下したり、冷凍室ケースやトレイが破損する原因になります。

食品の入れかた

食品保存のコツ

- 冷凍室ケース・トレイに収まるように入れる
(ドアが閉まらない・庫内破損の原因)
※ ドアにすき間があると庫内が十分に冷えません。
- 乳脂肪分の多いアイスクリームは冷凍室ケースで保存する
(アイスが溶ける原因)
※ トレイで保存すると柔らかくなる場合があります。
- 冷凍されていない食品を一度に多く入れない
(庫内の食品へ悪影響を与える原因)
※ 庫内温度が上がり、他の食品に影響を与えます。

- 炭酸飲料を入れない
(破裂による庫内汚損の原因)



自動製氷の使いかた

給水タンクから水を送り、自動で氷を作ります。

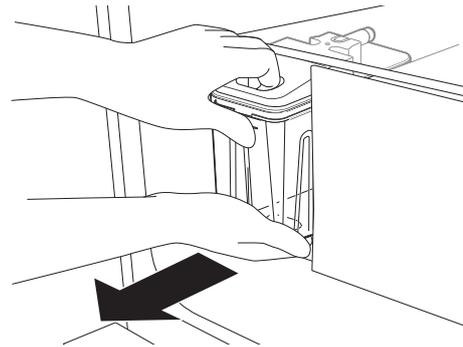
❗ お願い

- 給水タンクは使用する前に必ず水洗いしてください。
- はじめて氷を作るとき、1週間以上氷を作らなかったときは、製氷皿洗淨(→P25)をしてください。においやほこりが付いていることがあります。

1

冷蔵室内の給水タンクを取り出す

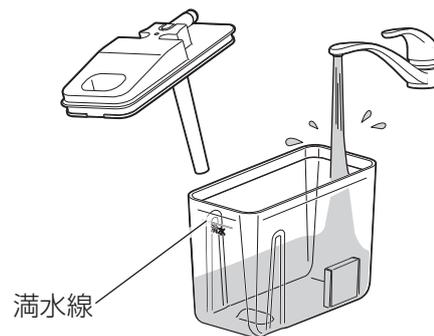
- ・ 給水タンクを取り出すときは、給水タンクのふたの取っ手を掴み、ゆっくりと手前に引き出してください。



2

給水タンクに水道水を入れる

- ・ 給水タンクのふたを開け、水を入れてください。
- ・ 給水後はふたをしっかりと閉めてください。

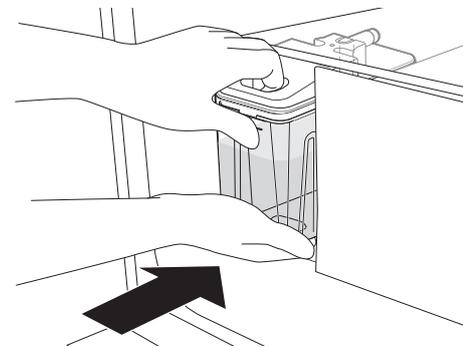


❗ お願い

- 「満水線」より上に水を入れないでください。水がこぼれることがあります。
- 水がこぼれないように水平に持って運んでください。
- ふただけを持って運ばないでください。

3

冷蔵室内に給水タンクを奥まで確実に差し込む

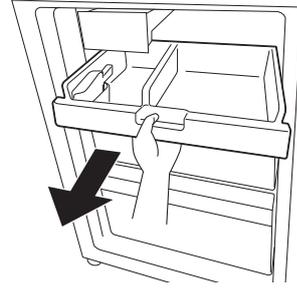


❗ お願い

- 水平に静かに押し込んでください。タンクを傾けたり揺らしたりすると、水がこぼれることがあります。
- 奥まで確実に押し込んでください。正しく差し込まないと、氷ができないことがあります。

氷を取り出すときは

- トレーを引き出し、アイスシャベルで氷をすくって取り出してください。
- トレーを引き出すときは、氷が落ちないように静かに引き出してください。



製氷時間

- 約240分で約10個の氷ができます。
- 冷蔵庫を使い始めたとき、夏場など周囲温度が高いときには、製氷室が十分に冷えないため、氷ができるまで1日以上かかることがあります。
- ドアの開閉が多いとき、一度に多量の食品を入れたとき、冬場など冷蔵庫の周囲温度が低いとき、自動霜取りをしているとき、冷蔵庫周辺の放熱スペースがせまいときは、製氷時間が長くなります。

製氷停止

氷を作らないとき、トレイのお手入れのときなど

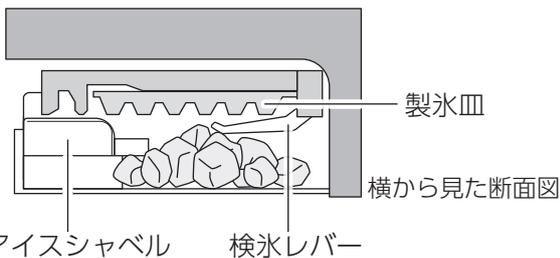
- 製氷切替ボタンを押してください。製氷ランプ点灯で製氷を停止します。

解除するとき

- 製氷切替ボタンを押してください。製氷ランプ消灯で製氷を開始します。

貯氷

- 貯氷量は検氷レバーで検知します。貯氷量が一定以上になり、検氷レバーが氷に当たると、追加で氷が作られなくなります。
- たまった氷は平らにならしてください。氷が部分的にたまり検氷レバーが当たると、製氷が止まります。



- 水の中に溶け込んでいた空気の細かい泡が氷の中に閉じ込められたり、水に含まれるミネラル成分が凍るときに固まったりすると、氷が白くにごることがありますが、害はありません。



注意

- 貯氷スペースに食品など氷以外のものを入れない
故障や氷ができないなどの原因になります。
- 冷凍室のドアはゆっくり開閉する
氷がこぼれることがあります。

部品の取り外しかた・取り付けかた

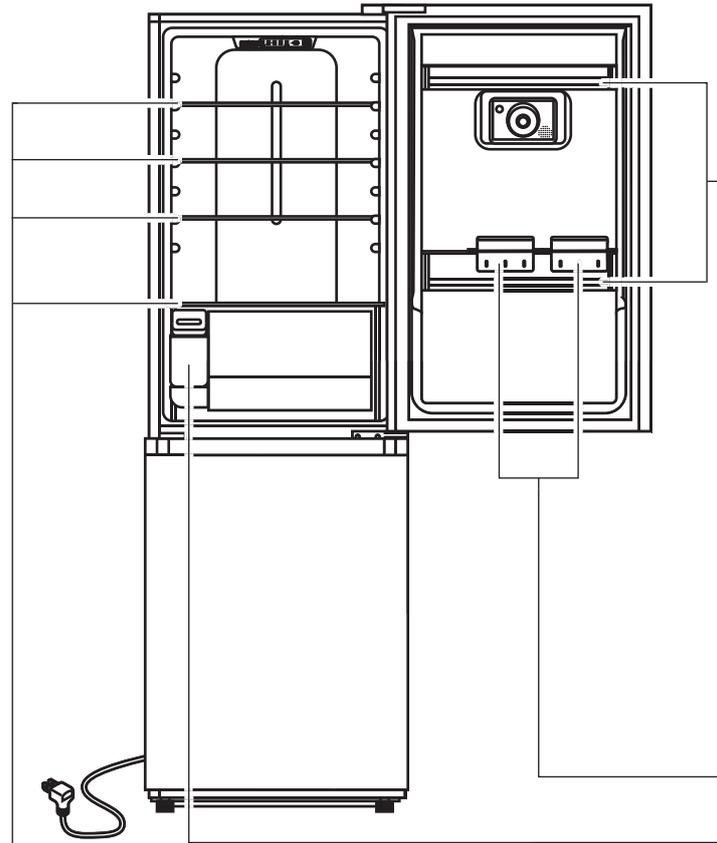


注意

- お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行う
- 水洗いはしない

！ お願い

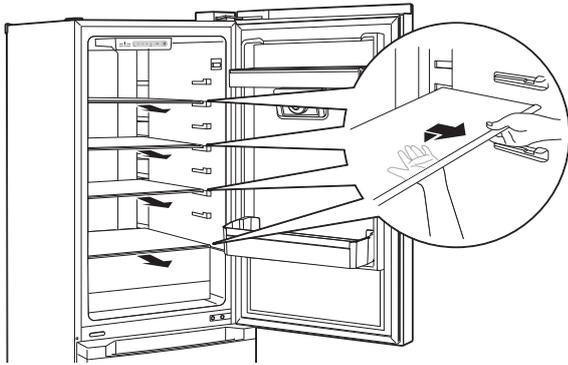
- 一度抜いた電源プラグは、すぐに差し込まないでください。コンプレッサーに負担がかかり、故障の原因になります。約6分以上待ってから差し込んでください。



冷蔵室 (ガラス棚)

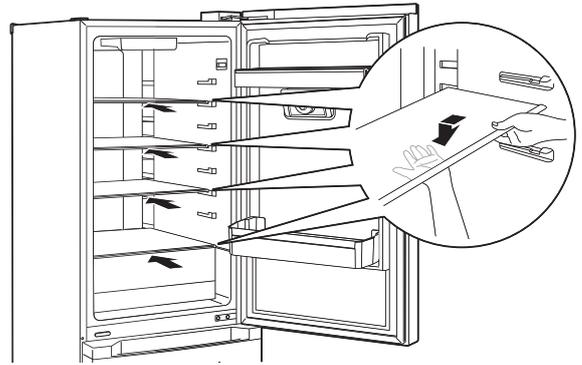
取り外しかた

手でガラス棚の下側を支えながら少し持ち上げて、ゆっくりと手前に引き出してください。



取り付けかた

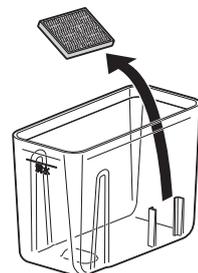
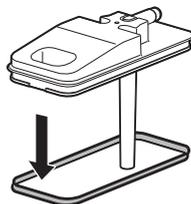
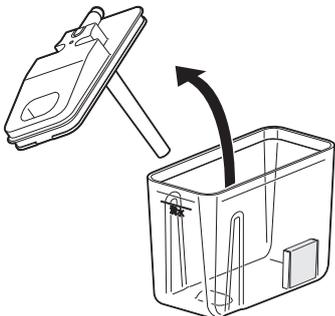
ガラス棚の両端を本体の溝に合わせて、ゆっくりと奥まで差し込んでください。



冷蔵室 (給水タンク)

部品の取り外しかた

- ① 給水タンクを取り出し、ふたを外す
- ② パッキンを外す
- ③ タンクから浄水フィルターを外す

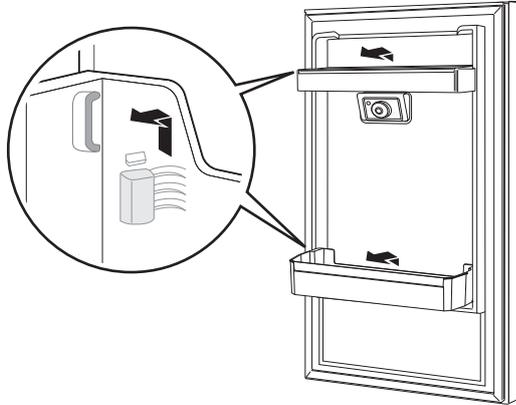


※取り付けは逆の手順で行ってください。

冷蔵室 (ドアポケット)

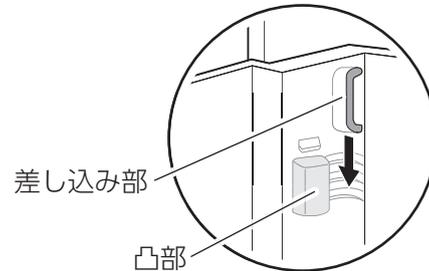
取り外しかた

両端を持ち、上へ持ち上げて外してください。



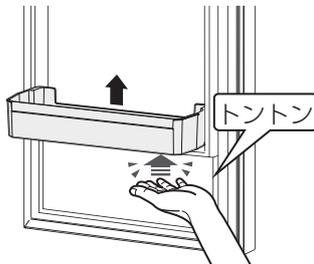
取り付けかた

取り付けるときは、ドアの凸部の奥に差し込み部を奥まで差し込んでください。



ポイント

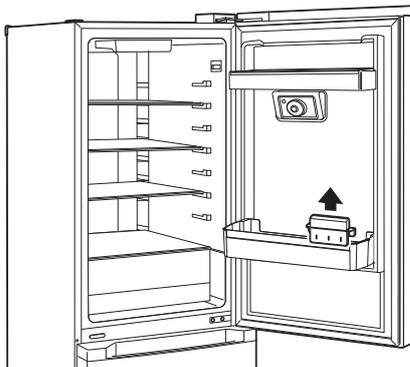
●取り外しにくいときは、底面を左右交互にトントンとゆっくりたたいて外してください。



冷蔵室 (ガードレール)

取り外しかた

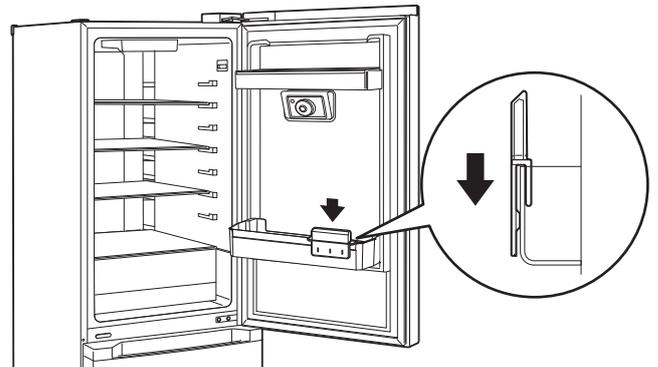
ゆっくりと上に引き上げて外してください。



取り付けかた

ガードレールのつめを、本体側のドアポケットに合わせ、奥まで差し込んでください。

※ ドアポケット下段の右端から取り付けてください。



お手入れ



警告

●お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜く

機能低下や故障を防ぐために定期的にお手入れしてください。

！ お願い

- 酸性・アルカリ性の洗剤・薬品、漂白剤、金属たわし、ナイロンたわし、研磨材入りのスポンジなどは使用しないでください。
- こびり付いた汚れなどを落とす際に、刃物やかたいものなどを使用しないでください。
- 庫内の汚れは、放置するとこびり付いて取れにくくなります。汚れたらすぐにお手入れしてください。
- ドアパッキンは汚れると傷みやすいので、こまめにお手入れしてください。

給水タンク

週に1回程度

ふた、パッキン、タンク、浄水フィルターを取り外し、水洗いする
取り外しかたは、22ページを参考にしてください。



- 浄水フィルターは、破れないように優しく水洗いしてください。
- 浄水フィルターは約3～4年を目安に交換してください。破れている、においが気になる場合は交換してください。

冷蔵室内・冷凍室内・外側・ドア・ドアパッキン

月に1回程度

よく絞ったふきんで拭く



- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないようにかたく絞った布などで水拭きしてください。

冷蔵室（ガラス棚・ドアポケット）

3か月に1回程度

よく絞ったふきんで拭く、または取り外して水洗いする
取り外しかたは、22、23ページを参考にしてください。



- 洗った後、よく乾かしてから取り付けてください。

冷凍室（トレイ・冷凍室ケース）

3か月に1回程度

よく絞ったふきんで拭く、または取り外して水洗いする



- 洗った後、よく乾かしてから取り付けてください。

背面・壁・床

年に1回程度



注意

- 背面の機械部分には触れない
運転中・停止直後は高温のためやけどのおそれがあります。

ほこりなどの汚れを取り除く



- 年に一度は冷蔵庫を移動させて、ほこりなどを取り除いてください。

電源プラグ

年に1、2回程度

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でほこりなどを取り除く



警告

- 自動製氷機の機械部に手を入れないでください
けがの原因になります。

製氷皿

年に1回、しばらく使っていないときなど

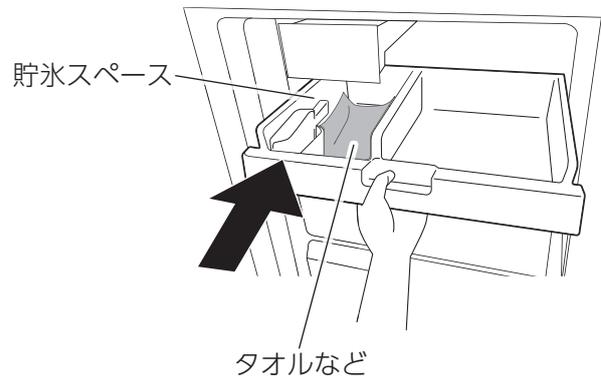
給水タンクから製氷皿に注水し、貯氷スペースへ排水することで製氷皿を洗浄します。
1回の洗浄で約200mLの水を使用します。

お手入れ準備

- ①トレイを空にする
※ 食材は冷凍室ケースなどに移してください。
- ②貯氷スペースにタオルなどを敷き、トレイを戻して、冷凍室の扉を閉める
※ 貯氷スペースの氷は移すか捨ててください。

ポイント

- タオルで水を吸い取ることで、水を捨てる際に、こぼれることを防ぎます。
※ タオルは高く敷かないでください。検氷レバーに当たり、動作不良の原因になります。
- ③給水タンクに水を入れ、セットする
※ 「満水線」より上に水を入れないでください。
水がこぼれることがあります。
 - ④冷凍室の扉を閉めた状態で製氷操作パネルの**製氷切替**ボタンを約3秒長押しする
※ 製氷ランプが点滅に切り替わり、製氷皿洗浄が始まります。
※ 洗浄中は冷凍室のドアを開けないでください。



お手入れ後

- ①洗浄が終わると製氷操作パネルの点滅が終了する
※ ゆっくり冷凍室の扉を開け、トレイを取り出してください。貯氷スペースからタオルを取り出し、トレイを水洗いしてください。

ポイント

- 洗った後、よく乾かしてから取り付けてください。

こまったときは・・・

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

	状態	原因・処置
本体	冷蔵庫の側面が熱くなる	→本体の側面および背面などが熱くなることがありますが、これは放熱パイプを内蔵し露付きを防止しているためです。使い始めや夏場は特に熱くなり、約50～55℃になることもあります。発火することはありません。（※庫内の食品への影響もありません。）
	外側に結露する	→乾いた布で拭き取ってください。 本製品の側面および背面には結露防止のために放熱パイプが通っていますが、周囲の湿度が高いと、一時的に結露することがあります。
	プラスチック部品に傷のような線がある	→傷ではなく、プラスチックを成形する際に発生する跡です。部品の強度に問題ありません。
	閉めたときに他のドアが開く	→ドアを閉める風圧で、他のドアが開く場合があります。 ゆっくり閉めてください。
冷え	冷えない	→電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない可能性があります。
	冷えが悪い	→操作パネルの温度設定で適切に調節してください。 温度設定が1（弱）の可能性が あります 。→P16
		→熱いものは、常温で冷ましてから入れてください。 熱いものを入れている可能性があります。
		→冷気の通るすき間を空けてください。 食品をつめ込みすぎている可能性があります。
		→直射日光や暖房器具の熱の当たらないところに設置してください。直射日光が当たっている、または暖房器具のそばで使用している可能性があります。
		→周囲に十分なすき間を空けて設置してください。 周囲の風通しが悪い可能性があります。
		→つかえているもの、はさまっているものを取り除いて、ドアをきちんと閉めてください。食品がつかえていたり、ドアにもものがはさまったりして、ドアがきちんと閉まっていない可能性があります。
		→夏場などでドアの開閉が多いときは、温度設定を5（強）にしてください。→P16 ドアが長時間開いていたり、開閉が多いと温度が下がりにくくなります。ドアを閉め、開閉を少なくしてください。
	→設置直後は庫内が十分に冷えていません。庫内が十分に冷えるまでは約4～10時間かかります。夏場は約24時間程度かかる場合もあります。	
	冷蔵庫の食品が凍結する	→操作パネルの温度設定で適切に調節してください。冷蔵室の温度設定が5（強）の可能性が あります 。→P16
→水分の多い食品は凍りやすいので、冷氣吹き出し口近くには置かないでください。 水分の多い食品が、奥の冷氣吹き出し口の近くに置かれている可能性があります。		
→（5℃以下）操作パネルの温度設定で冷蔵室の温度設定を1（弱）にしてください。 周囲の温度が低い可能性が あります 。→P16		
庫内に霜が付く	→水分の多い食品はラップをして入れてください。水分の多い食品をラップをせずに入れている可能性があります。	
	→つかえているもの、はさまっているものを取り除いて、ドアをきちんと閉めてください。食品がつかえていたり、ドアにもものがはさまったりして、ドアがきちんと閉まっていない可能性があります。	
	→ドアを閉め、開閉を少なくしてください。ドアが長時間開いていたり、開閉が多いと霜が発生する可能性があります。	
におい	庫内がおう	→においの強い食品は、ラップで包むまたは密閉容器に入れてください。においの強い食品を入れている可能性があります。 →庫内をお手入れしてください。食品かすが庫内に付着している可能性があります。 →P24

	状態	原因・処置	
音	「ガタガタ」「ゴトゴト」と音がする	→水平で安定した場所に設置してください。不安定な場所に設置している可能性があります。調節脚で調整して安定させてください。	
		→壁などから離して設置してください。周囲の壁などに触れている可能性があります。 →P08	
		→接触しているものを取り除いてください。周囲に落ちたものが接触している可能性があります。	
	音がうるさい	→冷蔵庫はコンプレッサーを運転したり停止したりして温度を調節しています。コンプレッサーが動き出すときは少し音が大きくなります。	
	水が流れるような音がする	→そのまま使用してください。冷媒が冷却器の中を流れる音がする場合は異常ではありません。	
製氷	氷ができない	→製氷が停止になっていませんか。製氷切替ボタンを押して製氷運転中にしてください。ランプ消灯時、運転中です。	
		→給水タンクに水が入っていなかったり、水の残りが少なくなると氷ができないことがあります。給水タンクの「満水線」まで水を入れてください。	
		→給水タンクを確実に奥まで差し込んでください。給水タンクが奥まで押し込まれていない可能性があります。	
		→食品やアイスシャベルが検氷レバーに当たっている可能性があります。食品が貯氷スペースに入らないようにし、アイスシャベルは所定の位置に置いてください。	
		→氷が貯氷スペースの奥側に偏っていませんか。検氷レバーが動作し満氷と検知すると、製氷が止まります。氷を手前にならしてください。	
		→設置直後は庫内が十分に冷えるまで時間がかかります。最初の氷ができるまで24時間程度かかる場合もあります。	
	製氷が遅い	→冷蔵庫の周囲の温度が高かったり低かったりすると、庫内が十分に冷えないため、氷ができるまで時間がかかることがあります。	
		→給水タンク設置直後は、すぐに給水動作をしないため、製氷開始まで時間がかかることがあります。	
		→ドアがきちんと閉まっていない可能性があります。ドアをきちんと閉めてください。(つかえているもの、はさまっているものを取り除いてください。)	
		→冷凍室の温度設定が1(弱)になっていませんか。庫内が十分に冷えていないため、氷ができるまで時間がかかることがあります。冷凍室の温度設定を3(中)にしてください。	
		氷に突起ができる	→製氷皿の溝部分にたまった水が凍ったものです。異常ではありません。
	氷が丸くなる 氷同士がくっついている	→長期間貯氷した場合、自然に小さくなったりくっついたりします。アイスシャベルで氷が離れる程度であれば問題ありません。	
		→大量の食品を一度に収納しないようにしてください。また、ドアの開閉回数や開閉時間をできるだけ少なくしてください。	
→製氷皿の溝部分にたまった水が凍り、氷同士がくっつくことがあります。異常ではありません。			
	氷が白くにごっている	→水の中に溶け込んでいた空気の細かい泡が氷の中に閉じ込められたり、水に含まれるミネラル成分が凍るときに固まったりすると、氷が白くにごることがあります。害ではありません。	
	トレイに白い粉がたまる	→水に含まれるミネラル成分が凍るときに固まったものです。害はありません。	
	氷が小さい	→給水タンクの水が少なくなっています。給水タンクの「満水線」まで水を入れてください。水が少なくなると、氷が小さくなることがあります。	

こまったときは・・・ つづき

	状態	原因・処置	
製氷	氷がにおう	→給水タンクの水が古かったり、におったりしませんか。1週間を目安に、給水タンクと浄水フィルターのお手入れ、水の交換を行ってください。また、浄水フィルターは約3年を目安に交換してください。 →長期間貯氷していませんか。食品のにおいが氷につくことがあります。氷を入れ替えてください。	
	製氷皿洗淨をしていないのに製氷操作パネルのランプが点滅している	10秒に1回点滅：製氷機の故障 10秒に2回点滅：製氷皿センサの故障 10秒に3回点滅：パイプセンサの故障 →故障の可能性があります。アイリスコールへご相談ください。	
カメラ	冷蔵庫カメラが登録できない	→無線LAN機器の電源が入っていることをご確認ください。	
		→無線LAN機器の取扱説明書をご確認ください。	
		→無線LANルーターのSSIDとパスワード（「暗号化キー」または「セキュリティキー」など）が正しく入力されているかご確認ください。	
		→IEEE802.11b/g/n（2.4GHz帯）に対応しているかご確認ください。	
		→製品本体と無線LAN機器が離れている場合は、電波が弱い可能性があります。無線LAN機器を製品本体の近くに移動するか、無線LAN機器の中継器などをご使用ください。	
カメラ	庫内画像が表示されない	→冷蔵庫カメラの登録をして約8分以上経過していない場合、庫内画像が表示されません。本製品のカメラは冷蔵庫のドアを開けてから約8分後に撮影し、アプリ内で画像をご確認いただけます。冷蔵庫カメラ登録直後は登録完了画面が表示されます。約8分後にアプリ内で画像が表示されているかご確認ください。画像が表示されない場合は、一度冷蔵庫の扉を開閉してください。それでも表示されない場合は、もう一度登録してください。 →電波状況によって、ドアを開閉しても庫内画像が更新されない場合があります。無線LAN機器を製品本体の近くに移動してください。	
		冷蔵庫カメラでQRコードを読み取れない	→スマートフォンの画面が暗い可能性があります。スマートフォンの画面の明るさを最大にしてください。
			→角度、距離が適正でない可能性があります。角度、距離（約15～20cm程度）を調整してください。
カメラ	画像がゆがんでいる	カメラの仕様により、多少ゆがんだ画像が表示されます。	
アプリ	操作のしかたがわからない	アプリの操作方法については、弊社WEBサイトでご確認ください。 	

それでも解決できないときは
お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分で分解・修理・改造しないでください。

移動・運搬するときは

! お願い

- 故障の原因になるので、横積みはしないでください。
- この冷凍冷蔵庫の電源は50 / 60Hz共用です。周波数の切り替えは必要ありません。

1 始めに

食品・飲料などをすべて取り出す

2 運搬前の準備をする

- ①調節脚を回して購入時の位置に戻す
 - ②転倒防止ベルトを外す
 - ③電源プラグを抜き、アース線を外す
 - ④通路に保護シートなどを敷く
- ・冷蔵庫背面下部の蒸発皿に水が残っていると、移動・運搬時に水が床面にこぼれることがあります。

3 運ぶ

- すべり止め手袋をして運搬用取っ手を持ち、2～4名以上で運ぶ。
- ・手を滑らして落下させないようにご注意ください。



長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- 運転中に異常な振動がある
- 電源コードが傷付いている
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。なお食品の補償など製品の修理以外の保証はいたしかねます。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、9年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

仕様・商標

種類	冷凍冷蔵庫	
定格内容積 ^{※1}	全定格内容積	296L
	冷蔵室	205L
	冷凍室	91L
冷凍室の性能 ^{※2}	記号	 フォースター
	冷凍負荷温度（食品温度）	-18℃以下
	冷凍食品の保存期間の目安	約3か月
定格電圧	AC100V	
定格電源周波数	50 / 60Hz	
定格消費電力	電動機	140 / 150W
	電熱装置	180W
年間消費電力量 ^{※3}	冷蔵室ドア内側の品質表示銘板に表示	
外形寸法	幅595×奥行600×高さ1,890mm	
質量	約58kg	
電源コード長さ	約1.9m	

※1 定格内容積は、日本工業規格（JIS C 9801-3：2015）に基づき、庫内の温度制御に必要なでない部品（ケースなど）を外した状態で算出しています。

※2 冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C 9607）に基づき表示しています。

※3 年間消費電力量は、日本工業規格（JIS C 9801-3：2015）に基づき表示しています。実際の消費電力量は、使用条件によって変動します。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ J-Moss（JIS C 0950：2008）の規定に基づき、対象となる6物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB・PBDE）の含有について情報を公開しています。詳しくはホームページをご覧ください。

https://www.irisohyama.co.jp/company/socialactivity/j_moss/

● App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

● iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

● AndroidおよびGoogle Playは、Google LLCの商標または登録商標です。

● QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

● “WPA™” および “WPA2™” は、“Wi-Fi Alliance®” の商標です。

● その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、®マークは一部記載していません。

● 無線LAN機器のセキュリティ対策が十分でないことに起因する情報の漏えいや、操作の不具合などの損害に対する責任を当社は負いかねます。

冷凍冷蔵庫 型番 IRSN-IC30A

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より 本体：1年間、特定部品：5年間 本体：下記以外のすべての部品 特定部品：冷媒循環回路（圧縮機、凝縮器、冷却器、毛細管、配管）
お客様	お名前	住所・店名 電話（ ） -
	ご住所 〒 電話（ ） -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、食品など、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール 0800-919-0770

スマートフォン用アプリに関するお問い合わせ（通話料無料）

Wi-Fiサポートコール 0800-170-5200

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート

24時間365日

Web即時回答サービス

